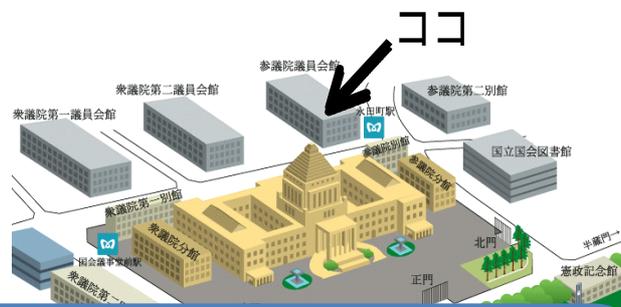


対政府交渉 子どもたちを守れ！ 食の安全と「避難の権利」確立を

2011年8月25日(木) 午前
参議院議員会館101会議室

東京都千代田区永田町1-7-1
最寄駅:丸ノ内線 千代田線 国会議事堂前駅
有楽町線 半蔵門線 南北線 永田町駅



- 9:30 ~ 10:00 市民の事前打ち合わせ
10:00 ~ 11:00 テーマ(1): 食品暫定規制値と生涯100ミリ
相手方: 厚労省、食品安全委員会(内閣府)、原子力安全委員会
11:15 ~ 13:15 テーマ(2): 学校20ミリ、避難区域、給食
相手方: 原子力災害対策本部原子力被災者生活支援チーム、
原子力安全委員会、文科省
13:15 ~ 13:45 事後集会

9:00 ~ 10:30までロビーで入館証を配布します。

主催6団体は、7月19日に福島市で、原子力災害現地対策本部と交渉を行いました。福島県民を中心に130人が集まり、「子どもの被ばく低減のため、選択的避難、サテライト疎開を含むあらゆる手だてを」と要請しました。

しかし、いまだに要請は実現しておらず、深刻な課題が残っています。

また、現在の食品の暫定規制値は、非常に高い値が設定しており、食の安全性に対する懸念も高まってきています。7月26日、食品安全委員会は「食品中に含まれる放射性物質の食品健康影響評価(案)」をとりまとめ、8月27日を期限としたパブリックコメントを実施していますが、この評価(案)と、「公衆の被ばく限度:年1ミリシーベルト」との関係、今後の食品の規制値への反映方法などについて多くの疑問があります。

今回は、こうした課題について明らかにし、日本政府に、「避難の権利」確立とトータルな被ばく低減策を求める要請を行います。ぜひ、みなさんご参加ください。

【主催団体】 子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク、福島老朽原発を考える会(フクロウの会)、国際環境NGO FoE Japan、グリーン・アクション、美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会(美浜の会)、国際環境NGO グリーンピース・ジャパン

【申し込み】 右記フォームよりお申込み下さい。 <http://bit.ly/n7LxkW> (各団体ウェブサイトからもリンク) または、finance@foejapan.org宛にお名前、emailをご連絡ください。

【問い合わせ】 福島老朽原発を考える会 阪上 携帯:090-8116-7155
国際環境NGO FoE Japan 満田(みつた) 携帯:090-6142-1807